

## 教職員ワークショップの報告

### 第2回教職員ワークショップが開催されました！

第2回教職員ワークショップは、8月7日に泉大津市教育支援センターで開催し、総勢22名が参加しました。

教育現場の課題出しをテーマとした第1回目に引き続き、第2回目ワークショップのテーマは、「教育現場の課題を解決する方法とは」でした。



#### 第1回の議論で明らかになった5つの課題

- ① 教職員の多忙化
- ② 児童・生徒理解
- ③ 教職員の連携・意思統一
- ④ 子どもたちの「確かな学力」を育む
- ⑤ 地域・家庭とのつながり



#### 解決策のアイデア

##### ●教職員の多忙化

- ・ノーパート活用
- ・会議の精選
- ・授業のプリントや道具のストック
- ・外部人材の登用（システムエンジニア活用など）
- ・ICT（一人一台PC、教室に無線LAN）の整備、事務処理のシステム化など

##### ●児童・生徒理解

###### 【発達障害児童への対応】

- ・家庭支援サポーターとの連携、教員の知識量を増やす

###### 【長欠・不登校生徒への対応】

- ・早期発見、対応（不登校相談経路）の共通認識の徹底など

##### ●教職員の連携・意思統一

- ・年度末反省等で職員の意見をたくさんもらう
- ・大まかな引継ぎではなく、ノートの取り方や丸の仕方などの細やかなところまで引き継ぐなど

##### ●子どもたちの「確かな学力」を育む

- ・生徒一人一人に向き合う
- ・視覚教材の確保
- ・他の先生の授業を見せてもらう時間を作る、若手が授業を見に行ける体制など

##### ●地域・家庭とのつながり

- ・専門の地域コーディネーターを採用するなど

※次回は、「課題から考えられるより具体的な解決策」をテーマに、8月25日10時から開催します。